

【Ⅱ】 寄附の仕組み

熊本市市民公益活動資金支援制度 検討事項について

1 寄附の種類

(1) 方針(案)

方針(案)		理由
団体種類	選択	
一般寄附	○	・寄附はしたいが、市民公益活動ならどこでもよい方のための制度。
団体指定寄附	○	・寄附者が支援したい団体を指定できる制度。
分野指定寄附	○	・福祉や環境など分野の中から支援を希望する分野を指定できる制度。
冠寄附	○	・一定額以上の寄附の場合、希望により寄附者・企業のお名前を冠とした冠基金を当基金内に、設置できる制度。
区指定寄附	×	・寄附者が支援したい行政区を指定できる制度。

(2) 課題

課題	説明
①冠基金の条件をどのように設定するか。 ・別枠で設定するのか、他の助成金(区分)と一緒にするか。 ・助成団体の選定などを寄附者へ委任するか。	・冠基金を設置している札幌市は、冠基金はそのテーマで事業を募集し、助成を明確にしている。 ・冠基金を別に助成をすれば、寄付者から見れば分かりやすい。 ・取り崩し型の制度であるため短期間で消滅してしまうなどの問題点がある。

【Ⅱ】 寄附の仕組み

熊本市市民公益活動資金支援制度 検討事項について

〔寄附が促進の仕組み〕

2 簡単な事務手続き

(1) 方針(案)

方針(案)	説明
・ 事務手続きをわかりやすく説明する	
① 寄附の手続きを簡単に	① 簡単な事務の流れにする。
② 基金のしくみをわかりやすく	② パンフレットなどでわかりやすくする。
・ 寄付者の意思が反映できる仕組みにする	・ 寄附先を選べること。 ・ 事業のプロセス・報告などを情報を開示する。
・ 寄付者にとって特典がある仕組み(プラスアルファ)	・ 税額控除 ・ 市政だより等でお名前・企業名を紹介する。 ・ その他
・ 事業報告会の案内	・ 広く周知するとともに、寄付者へは案内状を送付する。

(2) 課題

課題	説明
① 簡単な寄附の手続きにしたいが、ワンストップは難しい。 ・ 納付書を設置し勝手に入金してもらうのでは、寄附者へこの基金の説明ができない。	・ 寄附の申し込みを受け、制度の説明をし、納付書を送付後入金してもらう。 ・ 直接、税控除の説明もでき、心のこもった対応でつながりも生まれる。
② 寄附者にとっての特典を検討する。 ・ 市民にとっての特典 ・ 事業者にとっての特典 ・ 冠基金への申出者にとっての特典	・ 次年度の寄附につながり、団体の支援者につながるような特典が必要。

【Ⅱ】 寄附の仕組み

熊本市市民公益活動資金支援制度 検討事項について

3 事業報告会の実施

(1) 方針(案)・選んだ理由

方針(案)		理由
実施の有無	実施時期	
実施する	翌年度 4月～5月	・寄附者や市民へ事業の成果について報告できると、団体の活動のPRの場となる。 ・団体同士の交流の場とすることができる。

(2) 課題

課題	説明
注目される仕組み・しかけが必要である。 ・市民や寄附者が見に行きたいと思うような内容や仕掛け。	・具体的な手法や方法、広報など。
次の寄附につながるような仕掛けが必要。 ①市民や事業者からの寄附が次年度も継続してもらえるように。 ②団体の活動が継続できるよう支援する。	②助成をした事業報告は、もちろんだが、団体自らが積極的にアピールし、事業のプロセスもしっかり情報開示することで、賛同者を獲得することができるのではないか。 ②事業の助成だけにとどまらず、経営者セミナーや団体の広報スキルアップなどの支援もできるように。